

情報サービス論

科目ナンバリング LIH-104
図書 選択 2単位

上岡 真紀子

1. 授業の概要(ねらい)

この科目では、レファレンスサービスを中心とした情報サービス全般について学びます。前半は、情報サービスの定義と意義について、レファレンスを図書館員と利用者とのコミュニケーションと捉える基本的視点、利用者の情報ニーズを満たすためのサービスとして捉える視点を踏まえながら、受け入れ態勢からフォローアップに至るまでのプロセスを学びます。またレファレンスサービスが、質問回答サービスから情報環境の変化に伴い、利用者教育、発信型サービスへと範囲を拡大し、さまざまなチャンネルを通じて行われていることも学びます。さらに、図書館界がその情報をどのように共有しているか、どう評価できるのかについても学びます。後半は、情報検索の基本を確認し、レファレンスサービスで利用する情報源について、情報の生産と流通の側面から理解したのち、各種メディアや情報ニーズごとに、調べるためのレファレンスツールの特徴と使い方を学びます。

この科目では、テーマによってグループディスカッションを行い、みなさんで意見交換を行うほか、クラス全体で情報検索戦略・情報の識別・評価についてのワークを実施します。

*オンラインではグループディスカッションは行わず、ワーク(演習)のみ行います。

2. 授業の到達目標

- ・図書館における情報サービスの種類と内容を説明できるようになる。
- ・レファレンス・サービスを行うためのレファレンスツールの名称と使い方を説明できるようになる

3. 成績評価の方法および基準

毎回のリフレクションコメント(10%)、レポート(10%)、試験(80%)。ただし、欠席4回以内、出席したすべての回のリフレクションコメントとレポートの期限内の提出を、試験の受験の条件とします。レポートの提出のみ、試験受験のみなどは認めません。

レポートは状況を見て課します。レポートを課さない場合、成績の割合は試験に割り当てます。

4. 教科書・参考文献

教科書

市古みどり編著 『資料検索入門』2014 慶應義塾出版会

5. 準備学習の内容

図書館概論、図書館サービス論で学習した内容を復習しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

第1回目のオリエンテーションは、授業の進め方や成績評価方法を説明するので必ず出席すること。

図書館概論、図書館サービス論を事前に受講していることが望ましい。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 情報サービスの定義・構成要素
- 【第3回】 レファレンスプロセスとレファレンスインタビュー1
- 【第4回】 レファレンスプロセスとレファレンスインタビュー2
- 【第5回】 レファレンスサービスの評価、情報リテラシー教育1
- 【第6回】 情報リテラシー教育2:学修支援
- 【第7回】 情報源の種類と特徴
- 【第8回】 情報源の識別、情報検索の基礎
- 【第9回】 図書の情報源
- 【第10回】 雑誌・雑誌記事の情報源
- 【第11回】 新聞・新聞記事の情報源
- 【第12回】 辞書・事典類、便覧・ハンドブック
- 【第13回】 レファレンスツールの情報源、人物情報の情報源
- 【第14回】 インターネット上の情報源
- 【第15回】 授業のまとめと振り返り